

JAPAN CUP2026 チアリーディング日本選手権大会 DIVISION 1 高等学校部門 神村学園高等学校・清林館高等学校が初の決勝進出！

JAPAN CUP2026 チアリーディング日本選手権大会 3 日目は、ディビジョン 1 高等学校部門の準決勝が行われ、神村学園高（鹿児島）と清林館高（愛知）が初の決勝進出を決めた。

神村学園高の顧問は「みんな高校からチアを始めた初心者ばかりなんです」と話す。日本体育大（東京）出身のコーチが指導にあたるようになり、チームが強化された。

3 年生 9 人、2 年生 7 人のメンバー構成でノーミスの演技を披露。鹿児島実業高（鹿児島）でチアをしていた姉の影響で競技を始めたというキャプテンは、「特にパートナースタuntsにこだわりをもって練習をしてきました。みんなが楽しみながら、会場を飲み込むような演技をしたくて、それができて嬉しいです」と喜んだ。

副キャプテンは「昨年も決勝を目標にしていたのですが、前日までいい演技をしていたのに本番でノーミスができませんでした。ずっとパートナースタuntsが課題で、今日はいい演技ができて良かったです」と語りつつ、決勝に向けては「3 年生にとっては集大成。やってきたことを全員で出し切りたい」と意気込んだ。



清林館高は中部地区で唯一、男子選手が所属するチーム。男子部員が 12 人おり、この日はそのうち 5 人が青マットに立った。

3 年生男子のスポッターは「今までは大事な場面で消極的になることが多かったのですが、今日の演技で報われました。決勝も最後の最後まで攻める演技をしたいです」と笑顔。キャプテンも決勝に向け「強い気持ちでこだわりをもった演技を見せたい」と意気込んだ。



ディビジョン1 高等学校部門の準決勝は、7連覇を狙う箕面自由学園高（大阪）がノーミスの演技を披露して1位通過。2位が如水館高（広島）、3位梅花高（大阪）、4位目白研心高（東京）、5位千葉明德高（千葉）。

決勝は30日の最終日に行われる。

写真提供：「デイリースポーツ・プライム」

本サイトの記事、写真の転載はご遠慮ください。無許可の転載・複製は法律により罰せられます。

Unauthorized reproduction or duplication is punishable by law.